局齢者と薬

診療支援科長 Ht 中かか 英^{ひで}

とわざもあります。 も過ぎれば毒となる」というこ スリは、反対から読むとリスク くれるのが薬です。しかし、ク (危険)ともよく言われます。「薬 病気やけがをした時に治して

ません。 服用されている人も少なくあり ることが多く、何種類もの薬を いろいろな病気をもっておられ 高齢者は、年を重ねるごとに

排尿障害などがあります。 めまい、ふらつき、物忘れ、う す。特に高齢者に多い副作用に 副作用が現れることがありま つ、せん妄、食欲低下、便秘 しているため、薬が効きすぎて 若い頃に比べ体の機能も低下

20歳 80歳

薬の排せつ機能は80歳では、20歳の 約半分になるといわれています。 そのため、副作用が出やすくなります。

同齢者の上手な薬との 付き合い方

①お薬手帳を活用しましょう

解しておきましょう。 自分が飲んでいる薬について理 お薬手帳は1冊にまとめて、

師に正確に伝えられます。 必ずお薬手帳を提示してくださ 病院・診療所でも、診察時に 他の病院の薬の情報が、 矢

とを紹介していきます。

る際に注意していただきたいこ

そこで、高齢者が薬を服用す

チェックできます。 て薬の効き目が変化する)が 使用して、お互いに影響し合っ 作用(2種類以上の薬を同時に 他の病院との重複処方、相互

きます。 などを記載してもらうこともで 薬を服用した際の体調の変化

②薬の飲み間違い、 飲み忘れに

で判断せず医師や薬剤師にお尋 薬を飲み忘れた時など、ご自身 いてください。 た時の対処方法など相談してお ねください。事前に、飲み忘れ 薬の飲み方がわからない時

うにすることもできます。 ごとに分けて飲み忘れのないよ (朝食後、昼食後、夕食後など) 薬を1回分ずつ服用する時間



なくします。

③自己判断で薬を中止しない

こと」が大切です。薬を飲み忘 自己判断による中止は避けま るトラブルも非常に多いです。 むこと」、「自己判断でやめない れたり、 しよう。 処方された薬は、「きちんと飲 勝手にやめることによ

急に薬をやめると危険な場合も あります。 高血圧や糖尿病の薬などは

④飲み忘れの薬、古い薬が余り 整理できなくなった時

る場合は、かかりつけの薬局に お持ちください。医師に相談し 飲み忘れたり、余った薬があ 数量を調整します。

ともあります。 がけない副作用が出たりするこ 飲み方や使い方を間違える 効果が出なかったり、 思い

りつけの医師、薬剤師に何でも ご相談してください。 思うことがありましたら、かか 何か疑問に思うことや不安に

お知らせ

令和2年4月から水曜日の午後が休診となります。

急患はこの限りではございません。

【問合せ】小城市民病院 ☎73·2161 ホームページ・アドレス http://www.city.ogi.lg.jp/hospital/